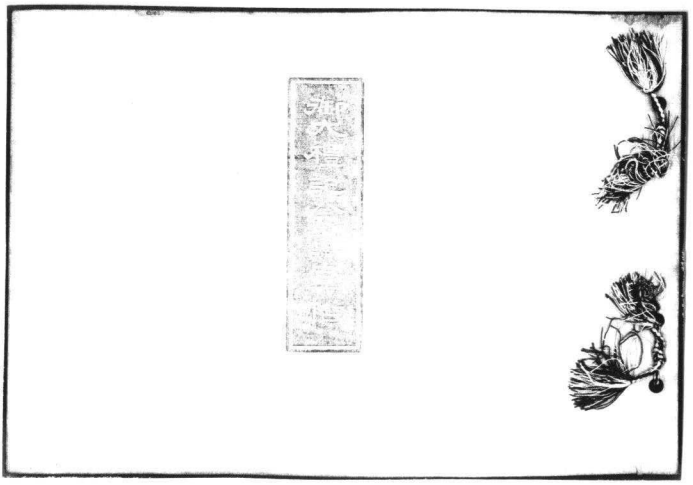


市田幸四郎 いまだらう 印刷業者。明治十八年一月十五日兵庫縣神戸市生れ、昭和二年三月九日歿（八五—一九三七）。舊姓永見。八歳の折市田家の養子となる。養家は明治三年以來寫真業を営み、市田寫真館の名は全国的にも知られた名鋪。四十年神戸高等商業學校第一期生として卒業後印刷業に乗り出し、日本で最初のオフセット印刷機を輸入、H・B寫真プロセスを導入して平版印刷の發達の功績も擧げた。

大正天皇の『御大禮記念寫真帖』（大正四年十二月一日日本電報通信社）を編輯印刷し、大阪商船（横綱太刀山）、明治屋（キリンビール）、壽屋（赤玉ポトワイン）等廣く知られたポスターを製作、殊に大正十一年印刷の半裸モデルを使った壽屋ポスターの人氣は高く、五萬枚づつ三度増



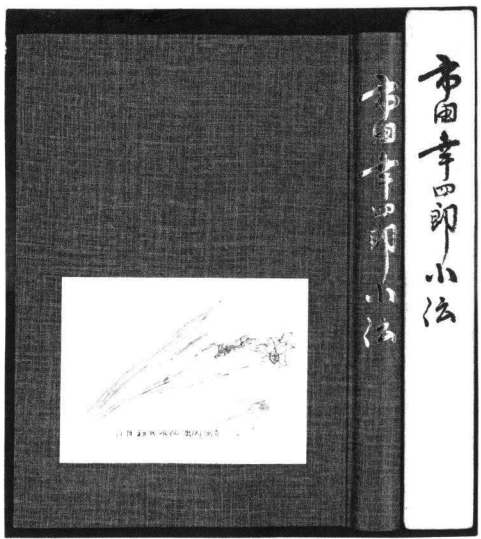
モデルを使った
壽屋ポスターの
人氣は高く、五
萬枚づつ三度増



刷した程だつたといふ。輪瀾に遭ひ死去。ほぼ冶金専攻の上野博士で切手蒐集家としても知られる市田左右一は長男。



市田幸四郎
小伝（谷本
正齋著、昭和



五十四年十一月二十日熊成印刷株式会社は、日本オナセット印刷所
拓史としても讀める文獻。因みに當時オナセットを日本シシ河と呼ぶが
問題はいなりた際、直譯(轉寫印刷)せず英語での儘で通す(トキヤ)主張
したので市田くもつたところだ。